

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(11月分)について

2024年11月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	10,194,363	8,764,311	116.3%	14,591,968	69.9%
国内旅行	16,796,321	16,326,356	102.9%	14,812,867	113.4%
訪日旅行	1,020,379	660,244	154.5%	523,645	194.9%
合 計	28,011,063	25,750,911	108.8%	29,928,480	93.6%

【概況】

11月の営業概況は、総取扱額280億1,106万3千円、2019年同月比93.6%となりました。海外旅行は、11月の出国日本人数が2019年比で71.6%となり、コロナ禍以降では初めて7割を上回りましたが、市場の回復は緩慢です。こうした中、当社では韓国、台湾に次いで回復が進むベトナムのテレビ通販を全国各地発着で実施したほか、需要の高いトルコ、エジプト、欧州の募集告知を強化しました。その結果、ベトナム、香港、韓国のアジア諸国に加えて、トルコ、エジプトの集客が2019年同月比を上回りました。中・遠距離の方面も、徐々に回復の兆しが見え始めています。

海外旅行全体の取扱高は、前年同月比116.3%、2019年同月比では69.9%となりました。

国内旅行は、物価高による節約志向が継続していますが、11月の日本人の延べ宿泊者数は前年同月を上回り、秋の旅行需要は概ね堅調でした。こうした中、当社では紅葉観賞や季節の味覚を楽しむツアーの募集告知を強化するとともに、グレードの高いリゾートホテルに宿泊する沖縄のテレビ通販を実施しました。その結果、沖縄、北海道、中国地方の集客が前年を上回ったほか、秋景や旬の食材を楽しむ周遊型ツアーや、グリーン車やハイグレードの宿泊施設を利用する旅行商品が伸長しました。

取扱高は、前年同月比 102.9%、2019 年同月比では 113.4%となり、堅調に推移しました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年 同月取扱高	2019 年 同月比
海外旅行	2,520,398	2,786,974	90.4%	3,227,594	78.1%
国内旅行	201,939	194,951	103.6%	290,466	69.5%
訪日旅行	5,409	14,781	36.6%	10,275	52.6%
合 計	2,727,747	2,996,708	91.0%	3,528,337	77.3%

【概況】

11月の営業概況は、総取扱額 27 億 2,774 万 6 千円、前年同月比 91.0%、2019 年同月比では 77.3%となりました。

海外旅行は、中国への業務渡航が緩やかな回復基調ですが、需要は未だ限定的で前年同月比では、90.4%となりました。

国内旅行は、業務出張、企画旅行の取扱いが堅調に推移し、前年同月比 103.6%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年 同月取扱高	2019 年 同月比
海外旅行	12,424,707	11,207,581	110.9%	17,692,960	70.2%
国内旅行	16,962,853	16,471,594	103.0%	15,004,121	113.1%
訪日旅行	1,025,788	675,025	152.0%	533,920	192.1%
合 計	30,413,348	28,354,200	107.3%	33,231,001	91.5%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724